

夏季全国集会参加のみなさんへ

大震災から2年4ヶ月あまり経ちましたが、原発事故は収束からは程遠く、被災地の人びとが安定した生活を取り戻すまでには至っていません。安倍政権の経済政策で物価はすでに上昇を始めており、さらに来年4月から段階的に消費税が上げられようとしています。今年度予算では生活保護基準も切り下げられ、さまざまな影響が心配されています。特に問題なのは日本の子どもの貧困率が先進国の中でも高い方で、格差が大きくなっていることです。就学援助を受ける子どもは増え、奨学金の返済に困っている大学卒業生も多くなっています。

教育再生実行会議は「教育長を首長が任命」する等首長の教育への関与を強める提言をしています。いじめ対策を口実に道徳の教科化も検討しています。また新卒教員に准免許、数年の試用期間後に本免許という自民党の教員の免許・採用制度改革案が報道されました。さらに「政治的目的をもって政治教育をしてはならない」として罰則を設けることまで検討しています。これは国民の教育を支配者にとって都合のよいようにするもので、教員も子どもも萎縮し、いじめはなくならず、教員も疲弊していくばかりです。

今、憲法を96条から変えようという動きに対して、立憲主義否定は認められない等、反対の声も強くなっていますが、安倍首相のねらいは9条「改正」であることは明らかです。

戦後民主主義の危機が一段と深まっている今、夏季全国集会で多くの教育実践の交流を行い、学びあいましょう。子どもたちに真実を伝え、騙されない主権者に育てましょう。

夏季全国集会にご参集の皆様のご活躍を祈念します。

2013年盛夏

日本民間教育研究団体連絡会